の上に無産政党の運動と申しますれば仮に何か一つの無産政党として主な
る綱領が出来上つても夫れは四分すると云ふ上手の結局に過ぎないと云ふ事
を思はざるを得ないのであります、私は此の問題に就いて一つ先輩の意見
を聞きたいと思ひます、去る六月の末に英吉利の倫敦を訪問致し
て労働党本部を訪問しましてヘンダスン氏と暫く話致しました、氏は
多忙の中を私の為めに約一時間許り時間を割いて英吉利労働党の
の事に就て説明して呉れましたが其の時に日本の労働党に付いて面白
い言葉がありましたのを茲に記憶致しますと日本の労働運動日本の無産政
党運動は何等労働組合の基礎の上に立たなければならぬ之に就いて
云はれしと云ふ事を申すのです、而して一体日本の労働組合の数は
何の位の労働者の数は何れ位であるかと言はれました夫れで私は
二十万、二十二万、二十五万と云ふ事を申しますけれども組織的な小作人等を入
れて三十万と云ふ事が不確かであると思ひまして約三十万と

言ひました同氏は直ちにビツクリ返つてオンリーメツタ三十万オンリー
メツタ三十万と云ふので私は三十万とでも云つたならば少しは賞めし
呉れると思つたらメツタ三十万かオンリー三十万を繰返されまして
りご私は穴あらば這入りたい様な感がしました、加ふるに其のメツタ三十万の
現状を見ますれば実に四分五裂の有様で日本は総聯盟と称ふ
て居りましても少しも組合は会や総聯盟と称ふ師團を唱へして
居りますがけれど私はやつぱり利益は取りありませんで、而して四分五裂
の状態に在るのかも一面に就ては普通選挙が実施されまして
無産政党を作らなければならぬ場合に押し出来ます、それで三十
万の労働組合員農民組合員が四分五裂して居る様であるか
る政党運動が出来るのであらうか私は自分の希望を全く述べ通りし
思ひ致す生涯を通じて日本労働組合の運動に従事せんければならぬて
と痛感する私は此ワ一つの言に依つて特に此の點